

若葉区支え合いのまち推進計画に準じた取組状況(令和3年度)総括表

◆取組みテーマ別取組状況(※市計画との関連付け)

取組みテーマ(市計画)	重点取組項目数	主な取組内容
1 見守りの仕組みづくり	7	・3地区部会エリアで重点取組項目として実施。訪問、あんしんカード配付、広報紙による地域住民への啓蒙、理解促進等に取り組んだ。 ・重点取組項目外では単位自治会による取組もあり。上記取組に加え、声かけ、目配り、気配り、パトロール、ラジオ体操等事業欠席者への訪問や電話連絡等を実施。
2 高齢者を支える仕組みづくり	6	・ふれあい・いきいきサロンを重点取組9地区部会エリアを含む13地区部会エリア(全49サロン)でいずれも月1回程度実施。様々な工夫を凝らし地域の高齢者の仲間づくりや交流の場を提供。 ・サロン未実施自治会や未参加者への働きかけ、サロン実施自治会相互での情報交換を行う。
3 障害者を支える仕組みづくり	0	重点取組対象の地区部会は0件だが、各地区部会に設置の障害者福祉委員会が中心となり、施設及び入園者並びに職員訪問、車椅子貸出、障害者のつどいの会での料理教室、手芸教室、バス旅行、障害福祉サービス事業所との連携による各種イベントの開催など各種事業に取り組んだ。
4 こどもと子育てを支える仕組みづくり	11	・5地区部会エリアで重点取組項目として実施。ふれあい・子育てサロン(区全体で10地区部会エリア18事業)の実施。男性育児参加を促す企画、地域の保育園や若葉区健康課とも連携し地域ぐるみの子育て支援に取り組んだ。
5 健康づくり	4	・5地区部会エリアで重点取組項目として実施。歩こう会、グラウンドゴルフ、社協だよりへの介護予防関連記事連載による情報提供、握力測定、ポッチャ、健康体操、ラジオ体操、公園清掃等を通し、健康づくりに取り組んだ。 ・健康づくりの一助となるふれあい・いきいきサロンを13地区部会エリアにて実施の他、ふれあい散歩クラブ・歩こう会を6地区部会エリアで実施した。
6 防犯・防災に対する取組み	7	・防犯では2地区部会エリアで重点取組項目として実施。防犯パトロール、セーフティーウォッチャー等の見守り活動、チラシ回覧にて注意喚起を促した。 ・防災について4地区部会エリアで重点取組項目として実施。防災マップ作成準備、町内自治会に対し自主防災組織設置の働きかけ、防災訓練、防災講習会等の開催、町内自治会と地区部会による災害時要支援者情報の共有化検討等に取り組んだ。
7 担い手の拡大とボランティアの促進	4	・3地区部会エリアで重点取組項目として実施。ボランティア講座(7地区)の実施をはじめ、地区部会広報紙や各種事業案内チラシの中でボランティアを募集した。また地域活動実施者に声かけし、ふれあい・いきいきサロンなど地区部会活動をテーマとした研修を実施、地区部会活動をムービー化しての周知、イベント参加者への勧誘、市ことぶき大学校学生へのボランティア研修等に取り組む、人材確保につながった。
8 福祉教育・啓発	2	・3地区部会エリアで重点取組項目として実施。ふれあい祭を通した子供たちとのふれあい、夏季及び冬季休業時に学校と地域との連携による工作教室や昔遊びの実施、高校、地域住民並びに地区部会の連携によるふれあい・子育てサロンの実施、各種講座を実施した。 ・ふれあい・いきいきサロンをはじめとした各種地区部会事業の中での世代間交流、全14地区部会エリアで発行の広報紙による地域福祉活動の周知啓発に取り組んだ。
9 地域のつながりづくり	13	・3地区部会エリアで重点取組項目として実施。歩こう会、ラジオ体操、セーフティウォッチャーによる登下校時の見守り、挨拶、声かけ、芋煮会、バス旅行、風揚げ、グラウンドゴルフ、バザー等の各事業を通した人同士のつながりづくりをはじめ、隣接地区部会協働による講座実施、介護や認知症等のテーマ設定のもと多職種による地域ケア会議を実施した。
10 相談支援体制と情報提供の充実	3	・8地区部会エリアで重点取組項目として実施。福祉のまちづくりに向けた町内自治会同士の情報交換会実施検討、地域ケア会議での地域課題の共有と各参加者の役割確認、サロンでのあんしんケアセンターとの連携による相談窓口の設置や介護保険等の情報提供に取り組んだ。 ・全14地区部会エリアで広報紙を発行。地域福祉に関する多様な情報提供を実施した。
今年度の振り返り	57	令和3年度はコロナウイルス感染拡大の影響で活動の中止や見合わせをするケースもあったが、その中で感染予防対策を講じて可能な活動は継続され、刊行物や物品等の配布による交流や啓発の実施、SNS等を活用したリモートによる活動等、様々な工夫やアイデアを盛り込んだ地域活動の事例がみられた。
今後の課題と方針		<ul style="list-style-type: none"> ・長期化する新型コロナウイルス感染症への対応を検討していく ・若葉区全体としての活動の一体化を推進していく ・地域活動に対する住民の理解や活動の見える化を進めていく ・高齢化に伴う地域活動の担い手不足や介護等の問題に取り組んでいく

◆区支え合いのまち推進協議会開催状況

開催日		主な議題等
令和3年度	第1回 6月30日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度若葉区支え合いのまち推進協議会正副委員長の選任について ・令和4年度若葉区支え合いのまち推進協議会の運営、開催スケジュールについて ・その他、コロナ禍での地域活動の意見交換
	第2回 12月12日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・取組状況(令和3年度)調査について ・第5期計画「具体的な取組」「重点取組項目」の作成に向けて

◆区の地域福祉に関する好事例等(1)

坂月地区部会の取組み

人が集まるのが難しい状況のため、
①75歳以上で独居の方に10月末から11月初旬にマスクを届けた。
②坂月小学校の児童と一緒に「花植え」は、児童のみの活動となったが、通常の支援を行った。

桜木地区部会の取組み

<いきいきサロン運営上の工夫>
長引くコロナ禍の中で、どうすれば安心して楽しく過ごせるかを工夫する動きが見られた。
・屋外スポーツ中心に活動。マスク着用。
・近隣の憩いの森にて青空サロンを開催。
・屋内でできる体操・運動を取り入れた。
・安価で豪華なお楽しみ品を用意して、コロナ禍でも楽しく過ごせるよう工夫した。
・近隣の公園にてグラウンドゴルフを実施。
・屋内でマジックや大正琴等、研鑽の成果を披露。

白井地区部会の取組み(1)

『集まらないで出来る活動を!』

1.ボランティア委員会

①タオルでボランティア:家庭に眠っている未使用タオルを施設に贈る活動期間中に660枚のタオルが集まり、白井地区内の11の施設に贈呈、社協と地域施設の交流を図った。
②シトラスリボンプロジェクト:コロナウイルスに感染した人やその家族、医療従事者の皆さんへの偏見、差別を無くし誰もが暮らしやすい地域を目指そうという活動(2,740セット/(リボン3個と説明書)作成配布)。白井公民館、白井地区自治会、白井地区の活動団体に配付。社協稲毛区事務所の方にリボンの作り方教示し、組織間の交流が出来た。

2.児童母子福祉委員会 子育てサロンの代替事業

わくわくパック:コロナ禍で集まれないので、親子を対象に家庭で楽しめる工作キットを作成し、公民館のロビーで配布した(30セット限定、年6回(2か月毎))30セットは2週間程度で配布完了(好評)。アンケート結果;子孫と一緒に楽しむことが出来た。

◆区の地域福祉に関する好事例等(2)

白井地区部会の取組み(2)

3.多部田町自治会

リモートラジオ体操:ラジオ体操会場の参加者と自宅参加者が同じ時刻に体操。終了時に会場の連絡者が自宅参加者に連絡し、励まし合って継続している(1年半継続、自宅参加者は会場に来て顔合わせを行った。

更科地区部会の取組み

・コロナ禍が続く中、令和4年3月26日(土)上泉公民館にていきいきサロン「なのはな」が新たに活動を始めることとなった。決してコロナ不安がなくなったわけではないにもかかわらず、地域の方々の提案で活動が始まったことに驚きを感じた。コロナに立ち向かうたくましさを感じた。

御成台・千城台西北地区部会の取組み

・当地区部会の活動は他地区部会と特に変わった活動はしていないが、他地区と同様で、役員の皆の協力のおかげですと続けられている。
・当地区部会では7-8年前からポッチャを活動の中に取り入れているが、「遊び」や「競う」ことは身体を活性化すると実感している。高齢者、子ども、障がい者を問わず新たな遊び・競いの要素を取り入れて参加者、役員含め楽しんでいきたい。

千城台東南・金親地区部会の取組み

「福祉の心」障害者委員会では「ひまわりの会」の集まり(会議)ができなかったことから、会員・委員の方に『食』をテーマに思い出や伝えたいことを書いてもらい“冊子”を作り届けた。皆様からは大変好評をいただいた。

都賀地区部会の取組み

1. 子育てサロン「ひなた」は、コロナ禍での活動中止が余儀なくされ、フェイスブックやインスタグラムの動画による『ひなたチャンネル』を配信し、参加者との交流をキープ。また、・市社協主催「コロナ禍におけるSNSを使った子育てサロンの発信方法について」の事例発表、さらには鹿児島県社協主催のオンライン会議(研修)において事例発表を行った。

2. かねてより地区部会活動の「みえる化」が懸案事項であったが、折しもコロナ禍によりすべての活動の休止を余儀なくされ、活動の代替えとしてミニ福祉通信「みんな仲間」を令和2年1月から隔月発行し、今年度も継続している。住民に寄り添う地区部会活動の趣旨から、大切な福祉関連情報を広域的に回覧で住民に提供した。

結・みつわ台地区部会の取組み

・地域内のママさんからの要望で、「なかよしサロン」を月2回、開設しているが、参加者は限定され、1回の開催あたり1~2組である。感染防止に留意しながらの開設が続いている。

若葉区支え合いのまち推進計画に準じた取組状況(令和3年度)個票

【取組みテーマ】1見守りの仕組みづくり 2 高齢者を支える仕組みづくり 3 障害者を支える仕組みづくり
 4 こどもと子育てを支援する仕組みづくり 5 健康づくり 6 防犯・防災に対する取組み
 7 担い手の拡大とボランティアの促進 8 福祉教育・啓発 9 地域のつながりづくり
 10 相談支援体制と情報提供の充実

地区部会エリア	重点取組項目	取組みテーマ	令和3年度の取組の方向性	令和3年度の実績	令和3年度の取組みにおいて困難だった点・今後の課題	令和4年度の取組の方向性について			
坂月地区部会エリア	④ 福祉施設や地域行事でのふれあい交流活動の実施	9	現状維持とする。	・令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、“歩こう会”、“グラウンドゴルフ大会”を自粛としたため、実施には至らなかった。 R3年度達成状況:C	※令和4年12月12日開催の第2回若葉区支え合いのまち推進協会にて、令和3年度の活動状況を踏まえ、令和4年度のみならず今後の第5期計画推進に対する取組の方向性についての検討を行う。その際、各地区部会単位ではなく、若葉区で統一した取組の方向性を定めていく予定。				
【人口・世帯数】 4,037人、1,850世帯				・令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、地域活動全般を自粛としたためマップの作成には至らなかった。 R3年度達成状況:C					
【町内自治会数】 5町内自治会				⑬ 防犯・防災意識を高め実践する。		6	令和3年度作成予定。		
【高齢化率】 22.7%				⑯ 地域福祉に関する情報の発信		10	広報紙は発行する方向に考えている。 R3年度達成状況:C		
【地域の特徴】 戸建住宅が少しずつ増え、新住民も増えてきているが、多くの生徒は、千城台西小学校へ通学しているため、エリア内にある坂月小学校(市内で最少人数)に通学する生徒は少ない。									
貝塚地区部会エリア	① 地域ぐるみで声掛け・あいさつ運動の実施	9	高齢者のサロン等の集会はコロナ禍の中で見通せないが、小学生への見守り活動は拡充すること。	・都小学校と北貝塚小学校区内のセーフティウォッチャーは継続出来た。 ・コロナウイルス感染防止の観点からサロンの開催が実施出来ず、高齢者への声かけや見守りの機会が減少した。 R3年度達成状況:B	同上				
【人口・世帯数】 6,113人、3,163世帯				④ 福祉施設や地域行事でのふれあい交流活動の実施		9	大きな集会活動は見通せないで、無理であればどのようなことができるか検討したい。 R3年度達成の目安:C		
【町内自治会数】 9町内自治会				⑤ 気軽に過ごせる居場所づくり		2.4	コロナ禍がどのように展開するのか？集会をするためにはどのような催しとするか、まず検討する。 R3年度達成の目安:C		
【高齢化率】 19.6%				⑨ わたしたちのまちの福祉を考える会(仮称)の設置		10	令和2年度の目標に挙げた「全町内・自治会で話し合う会」の設置に至らなかったが、社協地区部会で三役会を開催する際は、各町内・自治会長に出席頂き連携を図った。 R3年度達成の目安:C		
【地域の特徴】 代々続く旧家の多いエリアと、造成地へ戸建てが立ち、そこへ住む転入住民、賃貸住宅の多いエリアなどが混在し、古くから住宅のあるエリアでは2世代、3世代同居の家も多い。				⑬ 防犯活動の実施		6	個々の人が取り組める防犯、防災への意識を高める。コロナ感染を防ぎながら取り組めるものを検討したい。 ・地区部会全体で統一した活動には至らなかったが、各町内・自治会で防犯対策をしており、青バトによる巡回等を行っている。また都小学校区内は、こども110番のポスターの掲示協力をしている。 R3年度達成状況:B		
				⑭ 防災・減災活動の実施		6	具体的な訓練を実施できる形を作っていくたい。 ・各町内・自治会で防災組織は整っているが、防災訓練等はコロナウイルス感染防止の観点から実施出来なかった。 R3年度達成状況:C		

若葉区支え合いのまち推進計画に準じた取組状況(令和3年度)個票

【取組みテーマ】1見守りの仕組みづくり 2 高齢者を支える仕組みづくり 3 障害者を支える仕組みづくり
 4 こどもと子育てを支援する仕組みづくり 5 健康づくり 6 防犯・防災に対する取組み
 7 担い手の拡大とボランティアの促進 8 福祉教育・啓発 9 地域のつながりづくり
 10 相談支援体制と情報提供の充実

地区部会エリア	重点取組項目	取組みテーマ	令和3年度の取組の方向性	令和3年度の実績	令和3年度の取組みにおいて困難だった点・今後の課題	令和4年度の取組の方向性について			
桜木地区部会エリア									
【人口・世帯数】 15,212人、7,037世帯	② 子育てしやすい環境づくり	4	新型コロナウイルスの不安が残る中、無理のないサロン運営。	・子育てサロン「ととけっこー」を開催。(7回/年) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、定員5組・事前申込とした。 実施日=4月、5月、6月、7月、10月、11月、3月の第4日曜日 10:30～12:00 延べ参加者数59人 延べ運営ボランティア数27人 R3年度達成状況:B		同上			
【町内自治会数】 20町内自治会				⑤ 気軽に過ごせる居場所づくり			2.4	新型コロナウイルスの不安が残る中、無理のないサロン運営。	・いきいきサロン7か所のうち4か所が活動した。活動した各サロンはそれぞれ新型コロナウイルス感染予防の工夫を行った。 R3年度達成状況:B
【高齢化率】 24.6%									⑦ 地域でできる介護予防・健康づくり
【地域の特徴】 幹線道路が複数本通っており、地域を分断している。 住宅地が多く、古くからの住民に加え、新住民が増えてきている。				⑪ 見守り活動の仕組みづくり			1	・新規見守り活動の定着。 ・年末慰問金の配布活動。(当該家庭を訪問)	
小倉地区部会エリア									
【人口・世帯数】 13,172人、6,054世帯	② 子育てしやすい環境づくり	4	スタッフの人数が少なく、回数が1回に終わっているため、年2回開催に向けて、社協全体の活動として捉えていければと考える。	・「子育てサロン」は、コロナウイルス感染防止のため、開催を中止とした。 ※なお、小倉小学校開催(主催)「昔遊び」に極力。あやとり、お手玉、折り紙、おはじき、けん玉等の指導を行った。 R3年度達成状況:C		同上			
【町内自治会数】 12町内自治会				⑤ 気軽に過ごせる居場所づくり			2.4	参加者を増やすことと内容を充実させること。	・「いきいきサロン」年度中8回開催(4回はコロナウイルス感染防止のため中止)。 計69名参加 1回平均8.6名 ・サロン終了後、運営委員会を開催し、問題点等を議論、検討を行った。 R3年度達成状況:B
【高齢化率】 28.2%									⑪ 見守り活動の仕組みづくり
【地域の特徴】 約1,600世帯が属する小倉中央自治会(小倉台1丁目～小倉台7丁目)がエリアの中心にある。千葉都市モノレール小倉台駅を中心に、南北には戸建て主に住宅からなる住宅街と一部集合住宅(市営・県営)、幹線道路沿いには商店街が広がる。									

若葉区支え合いのまち推進計画に準じた取組
状況(令和3年度)個票

【取組みテーマ】1見守りの仕組みづくり 2 高齢者を支える仕組みづくり 3 障害者を支える仕組みづくり
4 こどもと子育てを支援する仕組みづくり 5 健康づくり 6 防犯・防災に対する取組み
7 担い手の拡大とボランティアの促進 8 福祉教育・啓発 9 地域のつながりづくり
10 相談支援体制と情報提供の充実

地区部会エリア	重点取組項目	取組み テーマ	令和3年度の取組の方向性	令和3年度の実績	令和3年度の取組みにおいて困難だった点・今後の課題	令和4年度の取組の方向性について
白井地区部会エリア	⑤ 気軽に過ごせる居場所づくり	2.4	コロナ禍でできるサロンを検討・実施する。	・白井地区部会のいきいきサロンは9か所を実施。 ・コロナ禍の為、休止の自治会あり。5か所を実施。		
【人口・世帯数】				7,023人、3,413世帯		
【町内自治会数】				18町内自治会		
【高齢化率】				42.7%		
【地域の特徴】 対象エリアが非常に広く、大きく3つの地域(西部・東部・中部)に分けられ、それぞれ異なる歴史・成り立ちを持ち、昔からの歴史のある地域と新興住宅地が混在している。	⑧ 活動の中核となれる人材の発掘	7	・委員会活動を通じて人材を発掘する。 ・住民参加のイベントを増やす。	・6つの専門委員会に所属する「白井地区部会協力員」枠を設ける。白井地区部会に所属していた方を対象として検討する。 ・住民参加のイベント(講座・講習会等)でボランティアとして協力者も募ることを検討する。		
	⑫ 活動団体同士の連携・交流	9	地域の課題が明確になったので引き続きケア会議を実施する。	①高齢者見守り活動実施4自治会(予定自治会含む)の意見交換会計画が、コロナ禍の為見送り。 ②ふれあい食事会連絡会 第2いずみ苑近隣4自治会でふれあい食事会再開に向け連絡会を実施。次回は、施設長の連絡待ち。 ③地域ケア会議の開催(R3.11.8実施) NW委員会が開連部所(ケアセンター、高齢障害支援課等)も集め災害時の対応事例を元に問題点を抽出する。		
	⑭ 防災・減災活動の実施	6	災害の被災体験をもとに地域防災のありかたを検討する。(地域ケア会議のテーマとする)	・NW委員会の地域ケア会議(R3. 11. 8)で実施。 令和元年9月9日台風15号の襲来により千葉市は最大風速57.5m/s。倒木、4日間の停電が発生。このときの体験をもとに意見交換を行う。 結果を、①災害時に困ったこと②活動の好事例③発案としてまとめ情報を共有する。		

若葉区支え合いのまち推進計画に準じた取組
状況(令和3年度)個票

【取組みテーマ】1見守りの仕組みづくり 2 高齢者を支える仕組みづくり 3 障害者を支える仕組みづくり
4 こどもと子育てを支援する仕組みづくり 5 健康づくり 6 防犯・防災に対する取組み
7 担い手の拡大とボランティアの促進 8 福祉教育・啓発 9 地域のつながりづくり
10 相談支援体制と情報提供の充実

地区部会エリア	重点取組項目	取組み テーマ	令和3年度の取組の方向性	令和3年度の実績	令和3年度の取組みにおいて困難だった点・今後の課題	令和4年度の取組の方向性について
更科地区部会エリア						
【人口・世帯数】 2,683人、1,237世帯	① 地域ぐるみで声掛け・あいさつ運動の実施	9	まずはコロナウイルスの感染防止から生じた課題を確認し、今後の取り組みを考えていく。	・民生委員による高齢者実態調査が延期、中止となったことからわかるように、声かけや訪問等にも自粛せざるを得なかった。 R3年度達成状況:C		
【町内自治会数】 13町内自治会						
【高齢化率】 38.9%						
【地域の特徴】 対象エリアは非常に広いが、住基人口(2,683人)、世帯数(1,237世帯)は区内で一番少ない。 多くの地域が農村地域であり、人の出入りは多くなく、高齢化率は高いが、現役農家世帯が多く、元気な高齢者が多い。						
	④ 福祉施設や地域行事でのふれあい交流活動の実施	9	コロナウイルスの感染防止で露呈した社会福祉活動の課題を明らかにし、取組を推進していく。	・敬老会の実施については市より自粛要請を受け中止。同じく、親子風揚げ大会も見送り、中止とした。 R3年度達成状況:C		同上
	⑤ 気軽に過ごせる居場所づくり	2.4	当面はコロナ感染症拡大を速やかに防止する政治の対策を待ちたい。	・年間を通してコロナ禍のため「いきいきサロン」も責任者(役員)の判断で中止が続いた。 R3年度達成状況:C		
	⑮ 災害時に避難できる体制づくり	6	・活動主体が自治会であるため、18連協で話し合いが進んでいる可能性はあるが、活動内容や実績を十分に把握できない実情がある。 ・新たに体制をつくるには難しい面が多く、今後、協議、検討が必要である。	この期間内に具体的に話し合われたことが確認できない。すでに18連協では検討は終わり、体制ができあがっているのかもしれない。 R3年度達成状況:C		
御成台・千城台西北地区部会エリア						
【人口・世帯数】 10,272人、4,775世帯	② 子育てしやすい環境づくり	4	当面は同じ形態の活動は難しい。母親同士の情報交換、癒しの場を異なる形態でどのように作っていけるか考えていきたい。	・当年度は活動自粛した。 ・コロナ感染防止の観点から、屋外で開催することについて協議を重ねた。次年度、屋内屋外両方で進める方向性を決めることができた。 ・この活動はお母さん同士の息抜き、情報交換の場であるので、やはり基本は対面開催にこだわりたい。 ・次年度はコンセプトを「赤ちゃんと一緒にヨガを楽しむ」 R3年度達成状況:B		
【町内自治会数】 18町内自治会						
【高齢化率】 34.0%	⑦ 地域でできる介護予防・健康づくり	5	人は歩くことが健康長寿のためにもっともよい。高齢者でも体に負担をかけずに歩けるポールウォーキングを広めていきたい。	・この項目の活動は従来にも増して充実してきた。 ・コロナ禍による活動自粛で体力が落ちてきたと感じる高齢者が多くなってきた。そんな方のために考案されたポールウォーキングを当地区部会で広めていくこととした。 ・当年度は社協だよりや地区部会活動の中で紹介を繰り返し、12月に実際にポールを使ったウォーキング体験会を実施。次年度(令和4年度)につながる活動を続けた。 R3年度達成状況:S		同上
【地域の特徴】 モノレール沿線を中心に、ショッピングセンターや住宅地が広がるエリアで、公共施設等が多く設置されている。						

若葉区支え合いのまち推進計画に準じた取組
状況(令和3年度)個票

【取組みテーマ】1見守りの仕組みづくり 2 高齢者を支える仕組みづくり 3 障害者を支える仕組みづくり
4 こどもと子育てを支援する仕組みづくり 5 健康づくり 6 防犯・防災に対する取組み
7 担い手の拡大とボランティアの促進 8 福祉教育・啓発 9 地域のつながりづくり
10 相談支援体制と情報提供の充実

地区部会エリア	重点取組項目	取組み テーマ	令和3年度の取組の方向性	令和3年度の実績	令和3年度の取組みにおいて困難だった点・今後の課題	令和4年度の取組の方向性について
	⑫ 活動団体同士の連携・交流	9	近隣自治会や同業の地区部会との連携は穏やかに模索を継続。	・コロナ禍のもと他団体との情報交換や協議ができる状況になかった。従って活動は低調に終わる。 ・穏やかに連携を探る努力は行っていきたい。 R3年度達成状況：C		
千城台東南・金親地区部会エリア						
【人口・世帯数】 10,969人、5,243世帯						
【町内自治会数】 17町内自治会	⑤ 気軽に過ごせる居場所づくり	2.4	コロナ禍の中、いきいきサロン、ふれあい給食を利用している方々の気持ちをくみ取り、いかにして再開できるようにするか検討。	1.サロン活動…状況を見ながら感染防止対策を十分とって実施した。 ・ふれあいサロン東町、南町 7/6、11/2、12/7、1/11 参加者合計33名 ・ふれあいサロン南町(会場：子ども食堂借用) 11/7、12/5、1/19 参加者合計26名 2～5.ささえあい組織「たんぼぼ会」…感染防止対策を十分とり、普段通りの活動を実施。付添211件、ゴミ出し578件、他55件 合計844件 6.ふれ合い食事サービス…感染防止対策を十分とり、11月、12月、1月 合計120食を提供。 R3年度達成状況：A		
【高齢化率】 36.4%						
【地域の特徴】 モノレール沿線を中心に、ショッピングセンターや住宅地が広がるエリアで、公共施設等が多く設置されている。	⑫ 活動団体同士の連携・交流	9	コロナ禍の収束が見込めない中、会員間の情報、ふれあい、支援をいかにはかっていくかが課題。	・令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、“中止とした”。 * 御成台、西北地区部会との合同講演会 * 高齢者の交流、グラウンドゴルフ、料理教室、バス旅行 R3年度達成状況：C		同上
	⑱ 福祉こころを育む活動の実施	8	令和2年度はコロナ禍のため一部の活動を除き中止したが、期間全体を通して見れば概ね計画通りに実施できた。コロナの収束状況を注視しながら再開できるところからはじめていきたい。	・令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、“中止とし、また千城台南小学校閉校により事業終了となった”。 【コロナ禍による中止】 ①東町自治会による「ふれあい祭」。 ②「コミュニティ祭」(コーヒー店出店)。 ③「夏休みなかよし教室」、「冬休みなかよし教室」、「昔あそび」の子どもと地域の交流。 【閉校による終了】 ①南町自治会による「ふれあい祭」 ②「サロン憩」植草短大生との高齢者との交流。 ③「サロン南町」児童との交流。 R3年度達成状況：C		

若葉区支え合いのまち推進計画に準じた取組
状況(令和3年度)個票

【取組みテーマ】1見守りの仕組みづくり 2 高齢者を支える仕組みづくり 3 障害者を支える仕組みづくり
4 こどもと子育てを支える仕組みづくり 5 健康づくり 6 防犯・防災に対する取組み
7 担い手の拡大とボランティアの促進 8 福祉教育・啓発 9 地域のつながりづくり
10 相談支援体制と情報提供の充実

地区部会エリア	重点取組項目	取組みテーマ	令和3年度の取組の方向性	令和3年度の実績	令和3年度の取組みにおいて困難だった点・今後の課題	令和4年度の取組の方向性について		
26地区部会エリア								
【人口・世帯数】 7,788人、3,522世帯 【町内自治会数】 8町内自治会	③ 公園やサークル活動を利用した交流機会の創出	9	新型コロナウイルス感染症が収束した時点で検討したい。	・ラジオ体操 公園でのラジオ体操を3自治会で実施したが、5自治会は住民の高齢化等で参加者が減少したことから、未実施。 ・グラウンドゴルフ大会 感染防止対策を十分とり、大宮中学校の校庭で実施。住民の健康づくりと住民同士の交流に取り組んだ。 R3年度達成状況：B		同上		
【高齢化率】 44.6% 【地域の特徴】 徒歩圏内に鉄道の駅はなく、公共交通機関はバスのみ。 当該エリアの中心である大宮台団地は昭和36年～42年にかけて、千葉県住宅供給公社により開発された大規模団地(当時戸建住宅2,040戸)である。隣接はしないものいずみ台ローズタウンを内包する。				⑦ 地域でできる介護予防・健康づくり			5	新型コロナウイルス感染症が収束した時点で検討したい。 ・感染防止対策を十分とりながら、早起きラジオ体操・元気で歩こう会・安心カード・安否確認電話連絡・高齢者見守りネットワーク・一人で避難できない人の介助・公園清掃除草・ゴミ出し支援・買物支援を実施した。 R3年度達成状況：A
				⑬ 防犯活動の実施			6	新型コロナウイルス感染症が収束した時点で検討したい。 ・感染防止対策を十分とりながら、地域の安全を守るため、各自治会でボランティア活動により防犯パトロールを実施した。パトロールの際、出来るだけ「見守り」活動をするよう心掛けた。 R3年度達成状況：B
若松地区部会エリア								
【人口・世帯数】 19,749人、8,859世帯 【町内自治会数】 13町内自治会	② 子育てしやすい環境づくり	1	「参加者増加へ向けた周知の方法、内容の充実を図る」ことを継続する。	・令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、「子育てサロン」を自粛としたため、実施には至らなかった。 R3年度達成状況：C		同上		
【高齢化率】 26.9% 【地域の特徴】 地区部会対象エリアがとても広く、住基人口(19,749人)、高齢者数(5,314人)、世帯数(8,859世帯)は区内エリアで二番目に多い。 若松台2・3丁目の高齢化率(44.5%)が非常に高い。				⑤ 気軽に過ごせる居場所づくり			1	この感染症が落ち着くまでは計画を行うのも心配。 ・令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、「いきいきふれあいサロン」を自粛としたため、実施には至らなかった。 R3年度達成状況：C
				⑱ 福祉のこころを育む活動の実施			7	コロナが終息し、また学校も考え方、方向づけにより左右すると思うが、事業に携わる全ての方にとって貴重な経験となるこの事業の再開を目指したい。 ・令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、実施には至らなかった。 R3年度達成状況：C

若葉区支え合いのまち推進計画に準じた取組
状況(令和3年度)個票

【取組みテーマ】1見守りの仕組みづくり 2 高齢者を支える仕組みづくり 3 障害者を支える仕組みづくり
4 こどもと子育てを支援する仕組みづくり 5 健康づくり 6 防犯・防災に対する取組み
7 担い手の拡大とボランティアの促進 8 福祉教育・啓発 9 地域のつながりづくり
10 相談支援体制と情報提供の充実

地区部会エリア	重点取組項目	取組みテーマ	令和3年度の取組の方向性	令和3年度の実績	令和3年度の取組みにおいて困難だった点・今後の課題	令和4年度の取組の方向性について
加曽利地区部会エリア						
【人口・世帯数】 6,641人、3,160世帯	⑫ 活動団体同志の連携・交流	4	自治会、民生・児童委員、あんしんケアセンター等が情報交換や意見交換を定期的に行う仕組みづくりを検討していく。	・コロナウイルス感染症のため、各団体との情報交換や意見交換を定期的に行う仕組みづくりを検討していくことができなかった。 R3年度達成状況：C		
【町内自治会数】 7町内自治会						
【高齢化率】 30.3%						
【地域の特徴】 エリア内には小学校が設置されていなく、1町のみ(加曽利町)のエリアである。 古くから農業を営む世帯の地域、戸建住宅が多い地域、最近新たに作られた新興住宅地がある。						
	④ 福祉施設や地域行事でのふれあい交流活動の実施	9	総論的な話も時には必要であるが、これに加えて、身近な福祉活動を行ってゆくには、企業への力添えも必要だと考えている。	・コロナウイルス感染症のため、社会貢献を積極的に行いたい企業と相互交流を実施できなかった。 R3年度達成状況：C		同上
	⑧ 活動の中核となれる人材の発掘	7	地域で定年を迎えた方や元気な高齢者に呼びかけ、これまで培ってきた知識や技術などを生かし、地区部会活動に参加していただく。	・地区部会や自治会の協力を得て、役員2名(会長・事務局)の新規役員等になっていただいた。 R3年度達成状況：S		

若葉区支え合いのまち推進計画に準じた取組
状況(令和3年度)個票

【取組みテーマ】1見守りの仕組みづくり 2 高齢者を支える仕組みづくり 3 障害者を支える仕組みづくり
4 こどもと子育てを支援する仕組みづくり 5 健康づくり 6 防犯・防災に対する取組み
7 担い手の拡大とボランティアの促進 8 福祉教育・啓発 9 地域のつながりづくり
10 相談支援体制と情報提供の充実

地区部会エリア	重点取組項目	取組み テーマ	令和3年度の取組の方向性	令和3年度の実績	令和3年度の取組みにおいて困難だった点・今後の課題	令和4年度の取組の方向性について
都賀地区部会エリア						
【人口・世帯数】	② 子育てしやすい環境づくり	4	幼児が相手の活動であり、コロナ収束後も慎重に対応したい。	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルス予防対策のため全ての活動を中止した。 ・活動中止のため、フェイスブックに加え新たにInstagramでの動画『ひなたチャンネル』の配信を行った。 ・市社協主催「コロナ禍におけるSNSを使った子育てサロンの発信方法について」の事例発表を行った。 ・鹿児島県協主催のオンライン会議(研修)において事例発表を行った。 	R3年度達成状況:A	同上
13,731人、7,059世帯						
【町内自治会数】						
10町内自治会	⑤ 気軽に過ごせる居場所づくり	1	コロナの収束を待って、活動趣旨などの再啓蒙などを行ってから再開。「協力したい。参加して皆との仲間意識を共有したい。」など、皆で楽しく支えるサロンを目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルス予防対策のため全ての活動を中止した。 ①いきいきサロン「健康づくりの会」 ②コミュニティカフェ ③親睦・研修旅行 	R3年度達成状況:C	
【高齢化率】						
28.2%						
【地域の特徴】						
都賀駅、モノレール沿線を中心に、戸建住宅の多い地域と、賃貸住宅集合住宅が多い地域がある。	⑪ 見守り活動の仕組みづくり	1	引き続きミニ福祉チラン「みんな仲間」の中で、ご近所福祉活動の一環としての協力方、啓蒙していきたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・ミニ福祉通信「みんな仲間」令和4年1月号で『お一人さまの生活不安対処について(各種サービス一覧表)を全域に回覧した。 ・地区部会ではテーマとして「ご近所福祉による見守り」が要としている。都賀の台では「支え合いの会」が主導し、自治会の広報誌などで断続的に啓蒙している。 	R3年度達成状況:B	
都賀の台1丁目から4丁目までの高齢化率の平均は約48.4%と、限界集落(50%:2人に1人が高齢者のまち)に近い状況まで高齢化が進んでいる。						
	⑫ 活動団体同士の連携・交流	9	引き続きミニ福祉チラン「みんな仲間」の中で、活動団体同士の連携・交流の重要性について啓蒙してまいりたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・ミニ福祉通信「みんな仲間」発行のため、あんしんケアセンター都賀と連携を密にした。 ※同様の目的で社協若葉区事務所との連携も維持した。 	R3年度達成状況:B	
	⑬ 地域福祉に関する情報の発信	10	引き続き隔月発行に努めたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルス予防対策のため全ての活動を中止となり、役員・会員相互の交流が途絶える中で、地区部会活動の見えるかを図る方策として、地区部会活動の代替活動の一環としてミニ福祉通信「みんな仲間」を令和2年1月から隔月発行し、今年度も継続している。 ※大切な福祉関連情報を広域的に住民へ提供することで、共に考える機会になればとの思いで継続している。 ※都賀の台の一部地区では内容により各家庭に配布された。 	R3年度達成状況:A	
	⑭ 地域での福祉教室等の開催と活動支援	8	引き続き有意義な福祉情報を発信し、教室活動以上の成果を期したい。	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルス予防対策のため講習会や研修会など中止となり、ミニ福祉通信「みんな仲間」を発行し、これらの福祉教育に代わる啓蒙、啓発対策とした。福祉に関する全域への広範な情報提供は有益かつ、有効であり今後も継続することとしている。 	R3年度達成状況:B	

若葉区支え合いのまち推進計画に準じた取組
状況(令和3年度)個票

【取組みテーマ】1見守りの仕組みづくり 2 高齢者を支える仕組みづくり 3 障害者を支える仕組みづくり
4 こどもと子育てを支援する仕組みづくり 5 健康づくり 6 防犯・防災に対する取組み
7 担い手の拡大とボランティアの促進 8 福祉教育・啓発 9 地域のつながりづくり
10 相談支援体制と情報提供の充実

地区部会エリア	重点取組項目	取組みテーマ	令和3年度の取組の方向性	令和3年度の実績	令和3年度の取組みにおいて困難だった点・今後の課題	令和4年度の取組の方向性について
結・みつわ台地区部会エリア						
【人口・世帯数】 24,296人、10,795世帯	④ 福祉施設や地域行事でのふれあい交流活動の実施	9	先が見通せないコロナ禍の現状では、休眠状態である。	・休眠状態が続き、先の見通しもできない状況が続いている。 R3年度達成状況:C		同上
【町内自治会数】 35町内自治会						
【高齢化率】 24.8%						
【地域の特徴】 高齢化率が10%台の町丁(殿台町、東寺山町、みつわ台1丁目、源町、原町の一部)もいくつかあり、比較的高齢化率が低い。35の町内自治会数は区内最多(加えて5の管理組合)である。						
	⑧ 活動の中核となれる人材の発掘	7	自粛期間が継続しており、積極的な活動不可状態が続く。	・休眠状態が続き、先の見通しもできない状況が続いている。 R3年度達成状況:C		
	⑫ 活動団体同士の連携・交流	9	コロナ禍で先行きが見通せていない。	・コロナ禍で先行きが見通せていない。 R3年度達成状況:C		
千城小地区部会エリア						
【人口・世帯数】 2,788人、1,356世帯	⑤ 気軽に過ごせる居場所づくり	1	ふれあい・いきいきサロン開催時は、3密を避ける。	・いきいきサロンは、3密を避け小人数で1か所(12回)実施した。 R3年度達成状況:B		同上
【町内自治会数】 10町内自治会						
【高齢化率】 43.8%	⑦ 地域でできる介護予防・健康づくり	5	開催時は、3密を避ける。	・コロナ禍にあり、年末切り餅贈呈活動のみ実施した。 R3年度達成状況:B		
【地域の特徴】 エリア内には1町(大宮町)しか含まれておらず、小学校は設置されているが、児童数は区内で最も少ない。古くから農業を営む世帯の地域があり元気な高齢者が多く、また新たに作られた新興住宅地がある。	⑭ 防災・減災活動の実施	6	コロナへの呼びかけと共に、今後も実施したい。	・防災パトロール8自治会中3自治会で実施(月1回)。3密を避け実施可能なため、今後未実施自治会に実施に働きかけを継続する。 R3年度達成状況:A		